

第 22 回 金属・無機材料技術専門委員会報告

今年度、第 4 回目の委員会が書面審議により開催された。

鉄鋼、非鉄、窯業及び溶接関連の JIS 制定 4 件（うち、鉄鋼連盟から 1 件）、JIS 改正 7 件（うち、鉄鋼連盟から 5 件）及び廃止 1 件（うち、鉄鋼連盟から 0 件）が審議され、鉄鋼連盟案件は **JIS G 3116**（高圧ガス容器用鋼板及び鋼帯）に反対 1 票があり次回の再審議扱いとなった。それ以外は承認された。再審議となった JIS 案は、他に 3 件あった。

1. 日時：2020 年 2 月 27 日（木）回答期限 2020 年 3 月 5 日（木）

2. 場所：書面審議

3. 議題

3.1 日本産業規格制定案の審議：4 件（下線：鉄鋼連盟案件）

- ① **JIS G 3571** 平行線ケーブル用高強度亜鉛めっき鋼線及び亜鉛アルミニウム合金めっき鋼線
- ② **JIS H 0523** ダイカスト用アルミニウム合金溶湯の清浄度試験方法
- ③ **JIS R 1762** ファインセラミックスー自立型電源用圧電デバイスの発電特性測定方法
- ④ **JIS M 8721** 鉄鉱石ー比表面積の測定ー空気透過装置を用いた試験方法

3.2 日本産業規格改正案の審議：7 件（下線：鉄鋼連盟案件）

- ① **JIS G 3109** PC 鋼棒
- ② **JIS G 3137** 細径異形 PC 鋼棒
- ③ **JIS G 0551** 鋼ー結晶粒度の顕微鏡試験方法
- ④ **JIS G 0555** 鋼の非金属介在物の顕微鏡試験方法
- ⑤ **JIS G 0567** 鉄鋼材料及び耐熱合金の高温引張試験方法
- ⑥ **JIS G 3116** 高圧ガス容器用鋼板及び鋼帯
- ⑦ **JIS G 3194** 熱間圧延平鋼の形状、寸法、質量及びその許容差

3.3 日本産業規格廃止案の審議：1 件

- ① **JIS G 5525** 排水用鋳鉄管

4. 委員構成

委員長：木村（物質・材料研究機構）

委員：篠崎（東京工業大学）、山口（九州工業大学）、廣本（物質・材料研究機構）、寺澤（鉄鋼連盟）、須山（日本ファインセラミックス協会）、天谷（日本アルミニウム協会）、種物谷（高圧ガス保安協会）、鎌土（日本マグネシウム協会）、井上（日本産業機械工業会）、倉品（自動車技術会）、田中（日本電機工業会）、藤田（ステンレス協会）、水沼（日本溶接協会）、細田（日本建設業連合会）、吉田（建材試験センター）

事務局：内藤、坂本（経済産業省）

5. 議事概要

5.1 JIS 制定・改正案の審議

回答数は 14(委員数 16)であった。JIS 制定 4 件（うち、鉄鋼連盟から 1 件）、JIS 改正 7 件（うち、鉄鋼連盟から 5 件）及び廃止 1 件（うち、鉄鋼連盟から 0 件）が審議された。

鉄鋼連盟案件は **JIS G 3116**（高圧ガス容器用鋼板及び鋼帯）に反対 1 票があり次回の再審議扱いとなった。それ以外は承認された。

再審議となった他の JIS 案は、**JIS G 3109**、**JIS G 3137**、**JIS R 1762** の 3 件であった。

5.2 今後の開催予定

第 23 回 金属・無機材料技術専門委員会は 5 月 28 日（木）に開催される予定。

（文責：寺澤）

第23回 金属・無機材料技術専門委員会報告

今年度、第1回目の委員会が書面審議により開催された。

JIS 制定4件(内、鉄鋼連盟から2件)、JIS 改正7件(内、鉄鋼連盟から5件)及び廃止2件(内、鉄鋼連盟から1件)が書面審議された。この中で、4件は、前回委員会で再審議となった案件である。再審議案件も含み、全13件が承認された。

1. 日時：2020年5月18日(月)～5月28日(木) 議決日 5月29日(金)

2. 場所：書面審議

3. 議題

3.1 制定案の審議：4件(下線：鉄鋼連盟案件)

- ⑤ **JIS G0951** 鋼構造物への循環式ショットピーニング用ショット
- ⑥ **JIS R1762** ファインセラミックスー自立型電源用圧電デバイスの発電特性測定方法(再審議)
- ⑦ **JIS Z2244-1** ビッカース硬さ試験ー第1部：試験方法
- ⑧ **JIS Z2244-2** ビッカース硬さ試験ー第2部：硬さ値表

3.2 改正案の審議：7件(下線：鉄鋼連盟案件)

- ⑧ **JIS G3109** PC 鋼棒(再審議)
- ⑨ **JIS G3137** 細径異形 PC 鋼棒(再審議)
- ⑩ **JIS G3116** 高圧ガス容器用鋼板及び鋼帯(再審議)
- ⑪ **JIS G0558** 鋼の脱炭層深さ測定方法
- ⑫ **JIS G3447** ステンレス鋼サニタリー管
- ⑬ **JIS G3448** 一般配管用ステンレス鋼鋼管
- ⑭ **JIS G3459** 配管用ステンレス鋼鋼管

3.3 日本産業規格廃止案の審議：1件(下線：鉄鋼連盟案件)

- ② **JIS Z2244** ビッカース硬さ試験ー試験方法
- ③ **JIS Z3871** アルミニウム溶接部の超音波探傷試験の技術検定における試験方法及び判定基準

4. 委員構成

委員長：木村(物質・材料研究機構)

委員：篠崎(東京工業大学)、山口(九州工業大学)、廣本(物質・材料研究機構)、寺澤(鉄鋼連盟)、須山(日本ファインセラミックス協会)、天谷(日本アルミニウム協会)、種物谷(高圧ガス保安協会)、河村(日本マグネシウム協会)、井上(日本産業機械工業会)、倉品(自動車技術会)、磯(日本電機工業会)、藤田(ステンレス協会)、水沼(日本溶接協会)、組田(日本建設業連合会)、吉田(建材試験センター)

事務局：内藤(経済産業省)

5. 議事概要

5.1 JIS 制定・改正案の審議

回答数は16（委員数16）であった。JIS 制定4件（うち、鉄鋼連盟から2件）、JIS 改正7件（うち、鉄鋼連盟から5件）及び廃止2件（うち、鉄鋼連盟から1件）が審議された。この中で、4件は、前回委員会で再審議となった案件である。再審議案件も含み、全13件が承認された。

5.2 今後の開催予定

第24回 金属・無機材料技術専門委員会の開催日程は、未定。

（文責：寺澤）